

スペースデブリに関する関係府省等タスクフォース(第1回)開催概要

参考資料1

昨今のスペースデブリの増加により、長期的には宇宙の安定的な利用に支障が生じる懸念があるため、国際的な議論や我が国における対応状況等を踏まえ、関係府省等が密に連携し、効果的な取組を促進することを目的に、タスクフォース会合(第1回)を開催。

- (1)日時 : 平成31年3月4日(月)17:15 ~ 18:00
(2)場所 : 中央合同庁舎第4号館4階 共用第4特別会議室
(3)出席構成員 :

内閣府(宇宙・科技)	平井卓也 大臣	防衛省	原田憲治 副大臣
	左藤章 副大臣	外務省	辻清人 大臣政務官
	安藤裕 大臣政務官	国土交通省	阿達雅志 大臣政務官
総務省	佐藤ゆかり 副大臣	環境省	勝俣孝明 大臣政務官
文部科学省	永岡桂子 副大臣	JAXA	山川宏 理事長
経済産業省	関芳弘 副大臣		

(4)結果概要

- 冒頭、平井大臣より、関係する各府省と連携し一体となってデブリ問題に取り組む必要性を説明。続いて、出席構成員より、各府省等におけるスペースデブリに関する取組を紹介。
- JAXAより、スペースデブリに関する現状とJAXAの取組を説明。民間企業の取組として、川崎重工業及びアストロスケールより、デブリ除去に関する技術開発の状況、ビジネス展望を紹介。
- その後、軌道の混雑状況、デブリ除去の方法と課題、JAXA保有技術の民間連携等について、質問やコメントを通じて出席者で状況を共有。
- 最後に、平井大臣より、デブリ対策は日本らしいプロジェクト、宇宙への関心が高まる中、宇宙と実生活に関わりが深いことを共有する必要性が指摘。



<開会時の平井大臣挨拶>